

- 外国人観光客が安心して旅行できる環境を整えることは、観光立国実現に欠かせない要素。
- 外国人観光客が安心して旅行ができる環境は、エリア全体で構築する必要がある。
- 行政、宿泊施設、交通機関、在札幌領事館等、多様な関係者と連携し、交通情報や観光客用避難場所情報等の効果的な集約・提供方法を検証しガイドラインを作成する。

## 背景

- 北海道胆振東部地震では、大規模停電の発生と公共交通機関の運行が中止となり、宿泊施設、空港、交通機関等の連携による情報発信等の体制が不十分であったため、必要な情報が迅速に提供できず外国人観光客が不安を感じる要因となった。
- 観光客向けの避難所が予め決められておらず、避難場所の情報も積極的に発信されなかったため、多くの外国人観光客が行き場を失った。

## 事業実施期間

- 平成30年12月～ 実態調査
- 平成31年2月4日 第一回有識者検討会
- 平成31年2月25日 第二回有識者検討会
- 平成31年3月5日 実証実験（訓練）
- 平成31年3月22日 セミナー開催（予定）

## 事業概要

### ○実態調査

- ・道内の自治体へアンケートを実施
- ・主要観光地の観光案内所、在札幌領事館等へヒアリングを実施

### ○ガイドラインの作成

- ・実態調査を踏まえ、外国人観光客に必要となる避難場所・交通情報等を集約した「テンプレート」を用いた関係機関との情報集約・提供方法に関するガイドラインを作成

### ○実証実験（訓練）

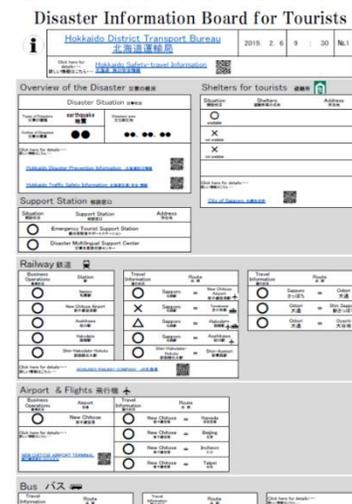
⇒外国人観光客に対する避難誘導及び情報集約・提供方法の検証(札幌市内、定山溪温泉)

### 【検証内容例】

- ・関係機関とのテンプレートの伝達
- ・テンプレートの活用方法と内容の分かりやすさ、実用性
- ・既存のHP等の活用方法
- ・テンプレートを使った外国人モニターへの案内・説明

### ○セミナーの開催

- ・作成したガイドライン、実証事業の検討結果を踏まえ、全道各地の観光関係者を対象にセミナーを開催



「テンプレート」のイメージ